

Zoom series

ズームシリーズ

新製品追加のご案内

NIPPON LENS 営業部

2021年6月

「Zoomシリーズ」の特徴

遠方と手元が両方カバーできる累進レンズですが、着用者の不満として2つの要素があげられます。

ひとつは「**クリアに見える視界領域の広さに対する不満**」。

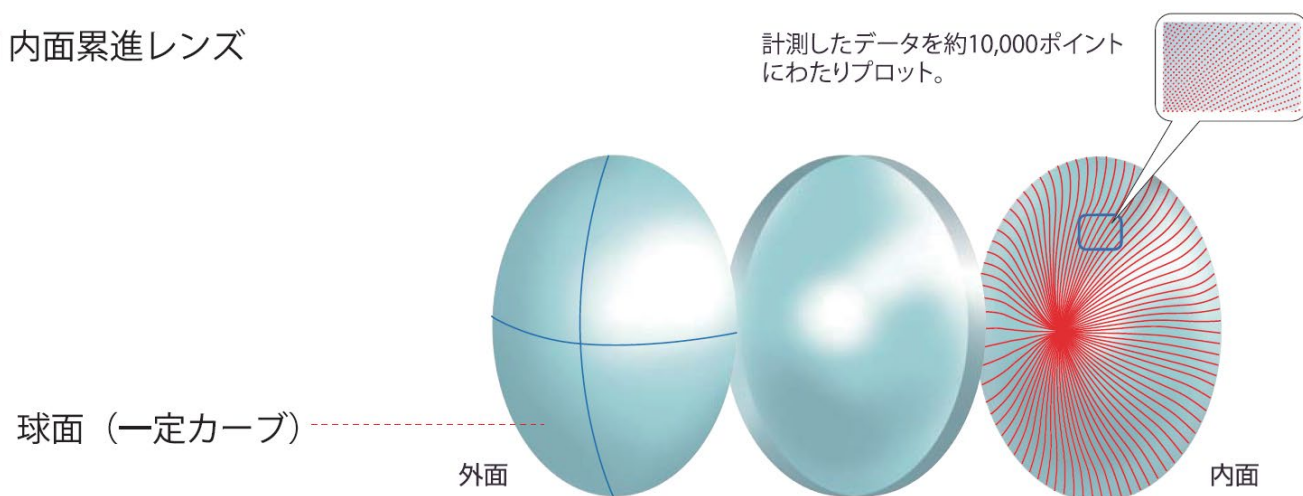
もうひとつは「**周辺部のゆれ・歪みに対する不満**」。

実はこのふたつ、対極的な存在で、片方に比重を置くと、どうしてももう片方に負担がかかるため、両者を同時に完全解決することは累進レンズの特性上、不可能とされています。

「Zoomシリーズ」はそういった累進レンズの特性を踏まえた上で、いかに両者をバランスよく配置させることができるかに設計基準を置き、開発された新型の内面累進レンズです。

表面カーブを一定化することにより内面累進デザインの自由度を向上させ、視界域の拡大と収差（ゆがみ）を軽減。ライフスタイルに合わせ選択いただけます。

■ 内面累進レンズ



Zoom Room

が3タイプになりました

明視域固定型の中近両用レンズとして

ご好評いただいています

Zoom Room

が選べる3タイプになりました

- ・ロング 4 M
- ・ワイド 2 M
- ・ショート 1 M **NEW!!**

*ユーザーのライフスタイルに合わせて選択いただけます

NEW !!

中近「Zoom Room ショート」の特徴



Zoom Room

ズームルーム ショートタイプ

屈折率：1.74 / 1.67 / 1.60

設計：中近 内面累進設計（モバイル用）

累進帯：18mm

どんな度数の組み合わせでもアイポイントで見た時に70cm付近が鮮明に見えるように設計されています。

近用から中間距離の視界域が大きく、手元作業などに特化させた設計となっています。遠用ポイントの焦点距離は1mで、複数のモバイルを使用の際に最適です。

中近「Zoom Room ワイド」の特徴



Zoom Room

ズームルームワイドタイプ

屈折率：1.74 / 1.67 / 1.60

設計：中近 内面累進設計（デスク用）

累進帯：18mm

どんな度数の組み合わせでもアイポイントで見た時に80cm付近が鮮明に見えるように設計されています。

近用から中間距離の視界域が大きく、手元作業などに特化させた設計となっています。

遠用ポイントの焦点距離は2mで、テレビ鑑賞などにも最適です。

中近「Zoom Room ロング」の特徴



Zoom Room

ズームルーム ロングタイプ

屈折率：1.74 / 1.67 / 1.60

設計：中近 内面累進設計（室内用）

累進帯：18mm

どんな度数の組み合わせでもアイポイントで見た時に1m付近が鮮明に見えるように設計されています。

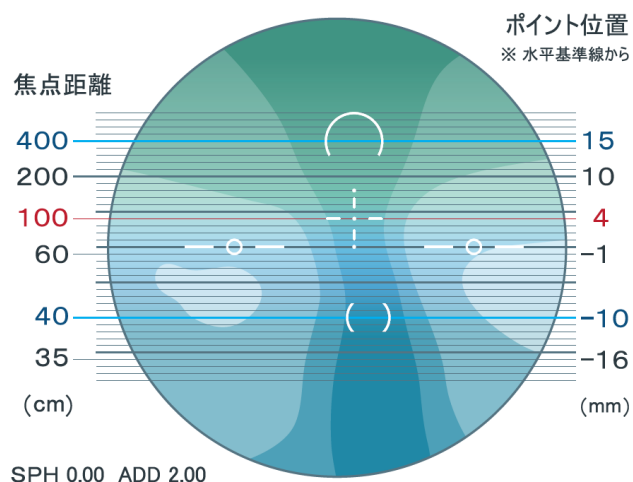
遠用ポイントの焦点距離が4mに設定されているため、プレゼン時のスクリーンなどもフォローでき、オフィス内でのご利用に最適です。

内面累進中近のアイポイント上の加入度割合について

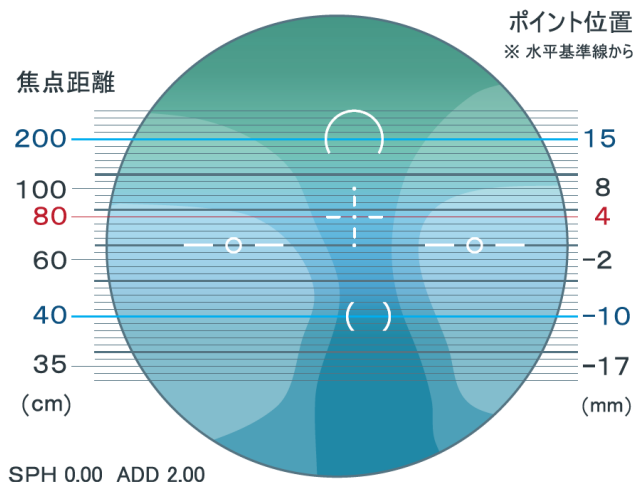
Zoom Roomのアイポイント上の加入度は加入度数によって変動します。
 レンズガイドにはADD3.00のアイポイント上の加入を表記 (L26%、W32%) しています。
 S 0.00 ADD1.00の場合はアイポイント上の加入度はロングタイプ56%、ワイドタイプ75%です。

Zoom Room

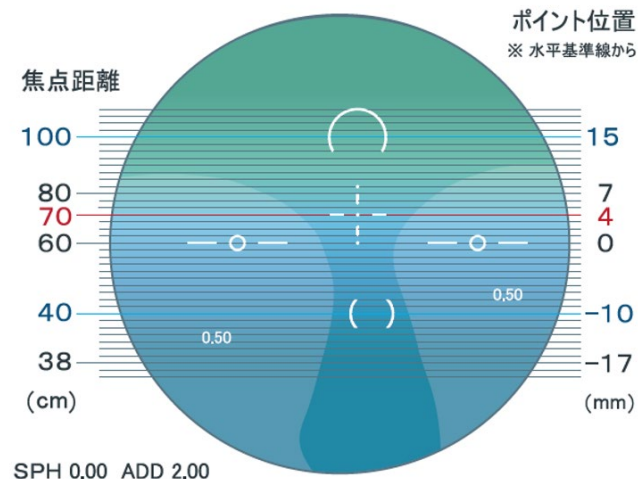
ロングタイプ



ワイドタイプ



NEW! ショートタイプ



加入度数に対する度数変化率

遠近両用「Zoom MV」の特徴



Zoom MV

ズーム マルチビジョン

屈折率：1.74 / 1.67 / 1.60

設計：内面累進設計（遠用重視設計）

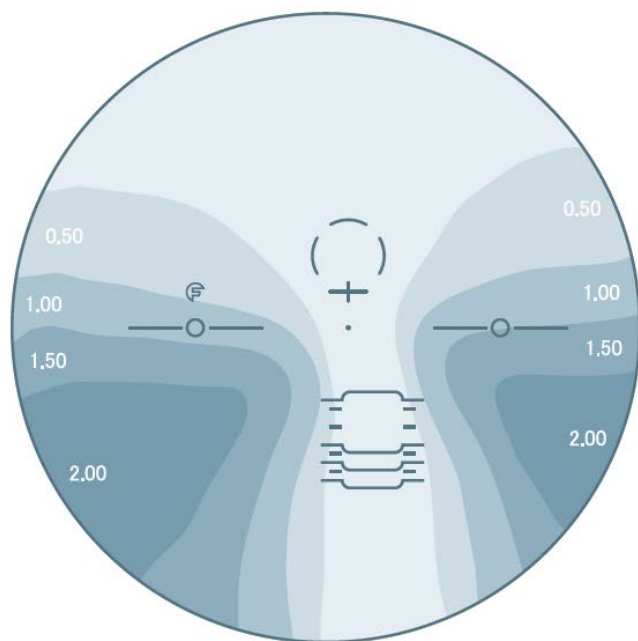
累進帯：11・13・15mm

- 遠用の明視域が大きく、広角的に利用できる。
- 手元の明視域も従来品と比べ拡大設定。
- 広角的な視野を必要とするドライブやスポーツなどに最適。
- 日頃から遠方用と手元用、2本のメガネを使い分けている方などにおすすめ。

遠近両用「Zoom MV」の特徴

中間部の視野をほんの少し犠牲にすることで遠方視野&近方視野のクリアな視界と、揺れ、歪みをおさえた快適さの両方のバランスがベストマッチです。

(基本設計)

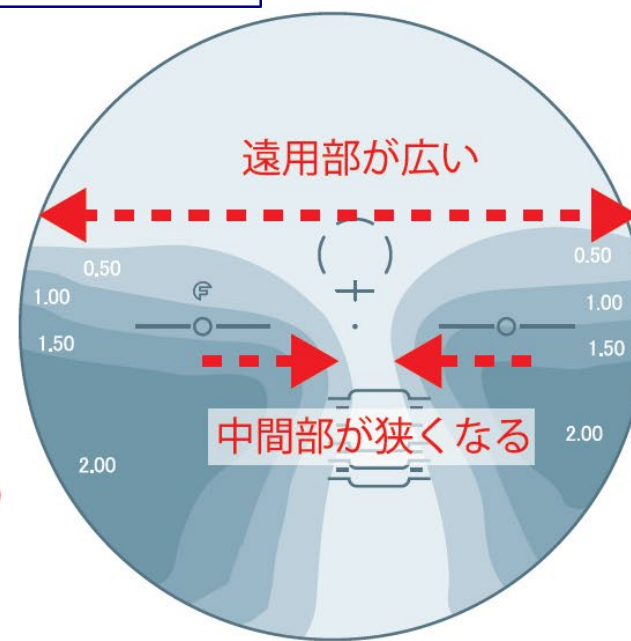


(SPH 0.00 / ADD 2.00 / length 13mm)

Zoom MV

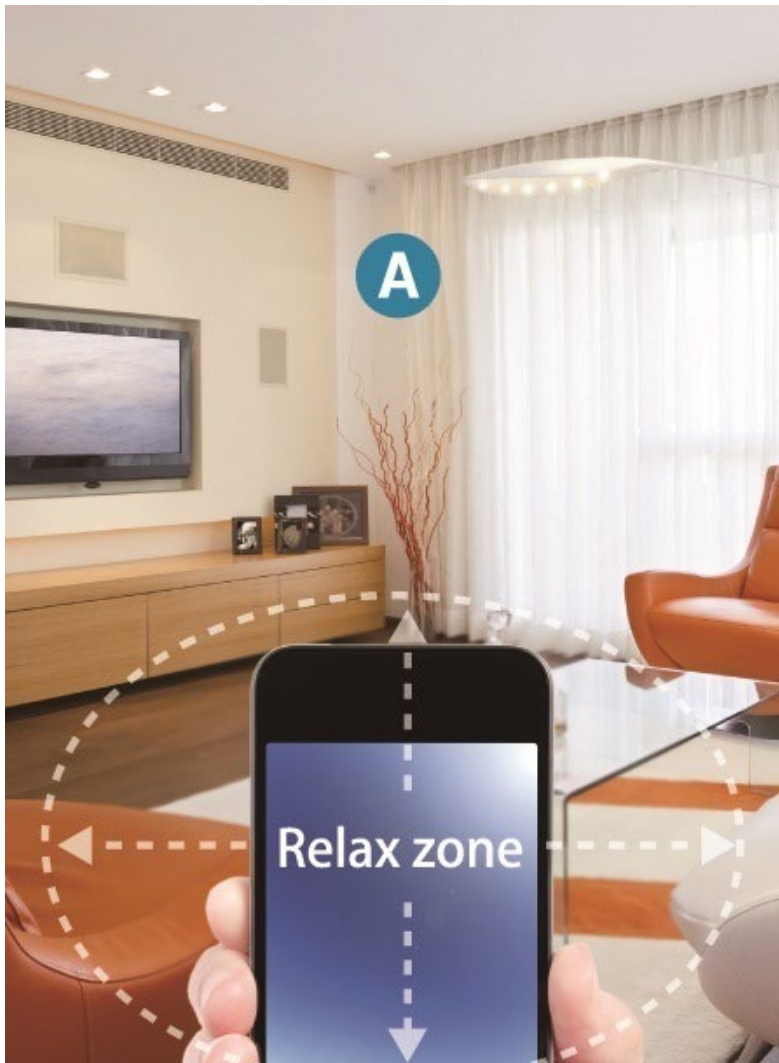


遠用部が広がるよう
設計デザインを改良



(SPH 0.00 / ADD 2.00 / length 13mm)

サポートレンズ 「Zoom ラクデス」 の特徴



Zoom ラクデス

ズーム ラクデス

屈折率：1.74 / 1.67 / 1.60

設計：低加入サポート 内面累進設計

加入 0.50/0.75 *加入度入力必須です

ラクデス (relax)ゾーンの採用でスマートフォンやパソコンをご利用されるとき目の緊張を和らげて「疲れ目」を軽減します。

0.50 タイプ



Young

スマホ世代全般

Relax zone 0.50

自然な見え方のナチュラルアシスト

0.75 タイプ



Middle

30代後半からはこちら

Relax zone 0.75

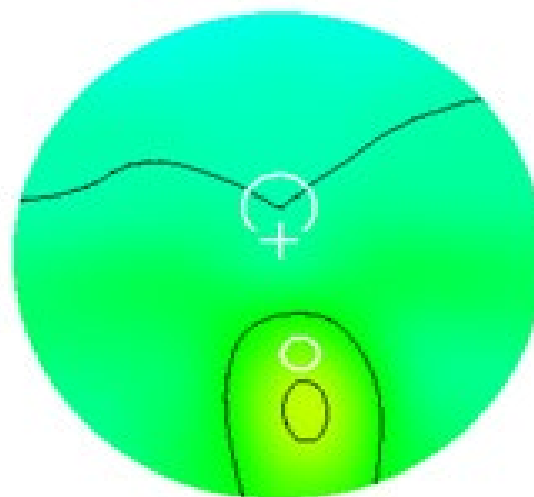
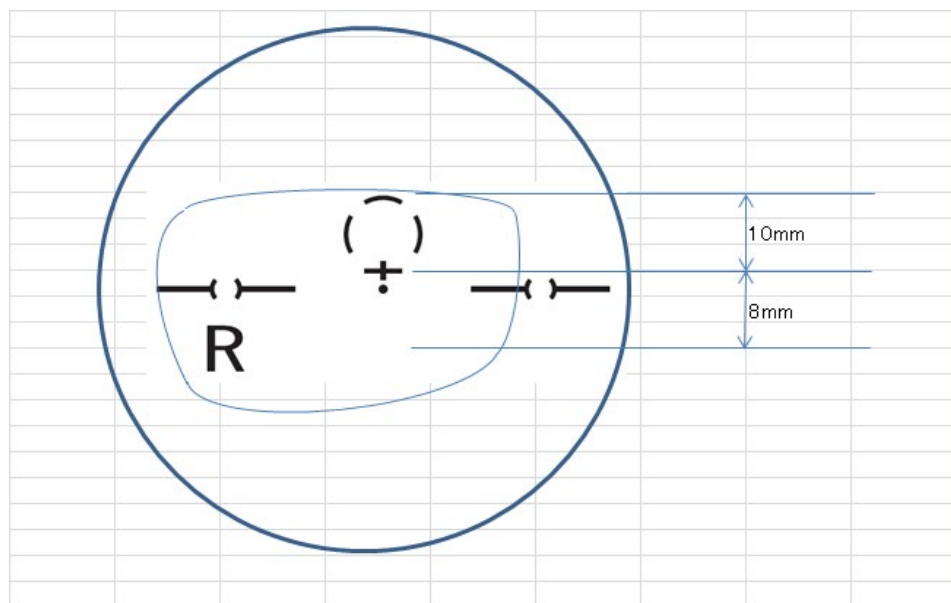
読書やPCなどのデスクワークにも

「Zoom ラクデス」の最小フレーム高

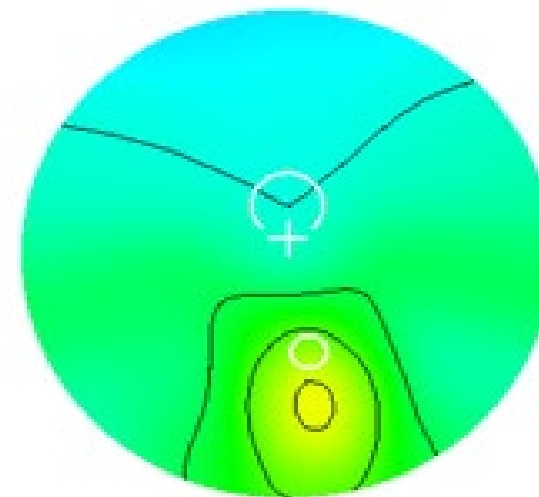
最小フレーム高は28mmです。

1. アイポイントから上 10mm。
2. アイポイントから下 8mm。
3. 最小フレーム高 28mm。

フィッティングポイントから下14mmでパワーアシストの85%下17.5mmで100%になります。



Add 0.50



Add 0.75

「Zoomシリーズ」 モニター評価結果

2019年5月 10名

実施レンズ：Zoom MV, Zoom ラクデス

評価方法：5項目の質問に5段階評価採点

1	2	3	4	5
非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い

- | | |
|---------------------|-----|
| ① 初期装用の印象はいかがでしたか？ | 1.4 |
| ② 終日利用しての印象はいかがですか？ | 1.6 |
| ③ 遠くの見え方はいかがでしたか？ | 1.5 |
| ④ 近くの見え方はいかがでしたか？ | 2.0 |
| ⑤ 揺れ、歪みはいかがでしたか？ | 1.6 |



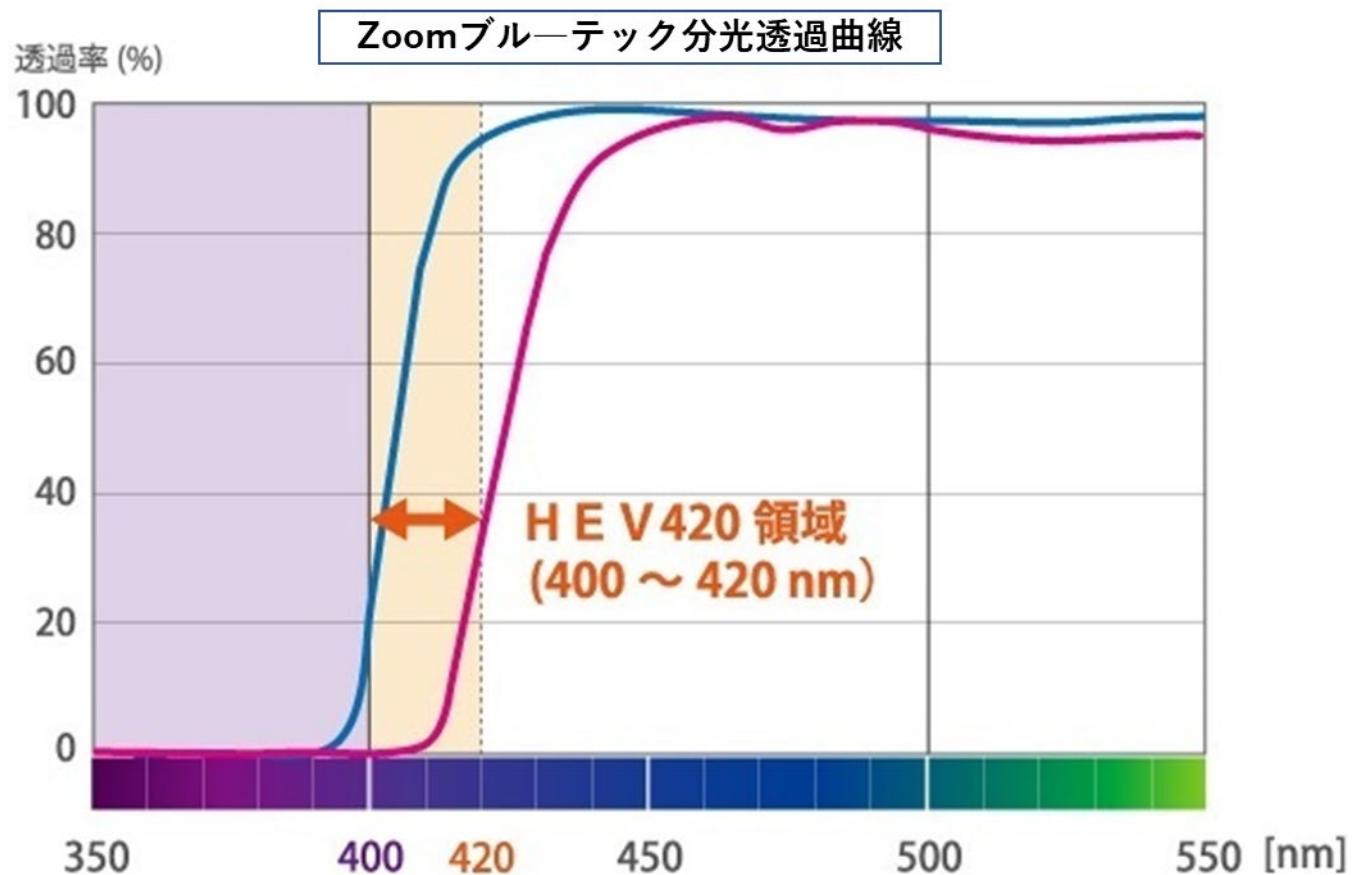
コメント一覧

・以前に比べてクリア見える。歪みも少なく階段や平坦な道も問題ない。 ・遠くの見え方が少し鮮明になった気がする。 ・内面累進設計を初めて掛けました。装用半日で違和感なく掛ける事が出来ました。側方の揺れ歪みが少なく遠方・近方とも視野が広く感じています。 ・裸眼での遠近は初めてでしたが、装用時は遠方、近方ともよく見えています。側面の視界も気になりません。近用重視のため、アイポイントを高め加工しました。デスクワーク時の中間距離が一瞬スッキリしませんが、顔の角度を変えることにより解消します。これは累進の使い方の慣れto思っています。総合評価としては「最良」ではありませんが、「良」です。 ・初累進でしたがほぼ歪みを感じることなく、快適に使用することが出来ています。 ・ADD0.75Dなので⑤は妥当かと思いますが、以前他社のADD1.00を使用したときに比べて、かなり快適でした。短波長光カットが、淡く緑がかった視界に感じられ、光が和らいでいることが裸眼と比較してよくわかりました。

UV420 PREMIUM 「Zoom Blue Tech」

UV400（紫外線）をほぼ100%カットします。

さらには最近の研究で目への影響が明らかになったHEV420（High-Energy Visible Light 420）領域も大幅にカットする新基準のUVカットレンズです



Zoom Blue Tech MV

ズームブルーテックマルチビジョン

Zoom Blue Tech Room

ズームブルーテックルーム

Zoom Blue Tech ラクデス

ズームブルーテックラクデス